

決算特別委員会（柴田勇雄委員長、大平守副委員長）を設置し、9月10日に各会計の25年度決算の審査を行いました。
主な質疑の内容をお知らせします。

一般一 一 会

総合案内看板
設置の考えは
総務
企画

問 観光客数が増加していますが、来町者に対応した総合案内看板の設置の考えは。
答 多くの方が来町している中、適切で親切な案内対応が必要と考えます。現地状況の確認や町観光協会などから情報を得ながら対策を検討します。

農林 環境 牧草地の除染 今後の計画は

問 牧草地の除染事業の実績と今後の見通しは。
答 昨年度は約180ヘクタールの除染を行いました。除染の計画面積2000ヘクタールに対して、現在、約28%進んでいきます。県の補助事業の活用が見込まれる28年度までに完了することが難しい状況です。今後の動向に注視しながら対応を検討します。

農林 環境 町産の菜種油 今後の活用は

問 菜種油の今後の活用方法は。
答 遊休農地の解消対策として菜種の作付けを推進し、生産した菜種から油を絞って販売を行いました。今後は、その廃油を回収して、バイオディーゼル燃料（※）として活用することを検討しています。ごみの焼却施設などの燃料に利用する考えです。

（※）「バイオディーゼル燃料」
廃食用油や菜種など植物油からできる燃料で、軽油の代わりとなり、自動車や重機などのディーゼル車に利用できます。



町内産の菜種を原料に使った菜種油

農林 環境 町産材の利用 増加の要因は

問 町産材利用促進事業の実績が増加しましたが、その要因は。
答 町産材の利用促進を図るため、事業の見直しを行いました。住宅以外の畜舎などを新たに補助対象にしました。また、乾燥材以外の木材を補助の対象に加えました。そのほか、補助金の上限額を拡大したことなどで、実績が増加したと分析しています。

建設 水道 住宅耐震診断 事業の内容は

問 一般住宅の耐震診断事業の内容は。
答 一般住宅の耐震診断を実施した場合に、その費用の9割を助成する事業です。また、診断結果を示して、希望する方に改修を勧めました。主な改修は、耐震性を持たせる箇所を補強する工事です。改修工事にも助成金があります。今後も、安心して住める住宅造りに支援する考えです。

教育 委員会 学力向上支援 事業の成果は

問 学力向上支援員の配置による成果は。
答 町内の複式学級を有する小学校2校に、学力向上を図る目的で配置しました。支援員を配置した学校の全国学力テストの結果では、前年度を上回る成績や平均点の向上などの効果が数値として表れています。併せて、学校の指導体制の充実強化を図りました。

特別一 一 会

国保 会計 保険給付費の 減額対策は

問 保険給付費の減額対策の考えは。
答 保険給付費を抑制していくことが国保財政の運営で重要と考えています。特定検診の受診などで病気を早期に発見し、医

国保 会計 国保会計の 財源確保策は

問 国保会計の不足財源を確保する対策は。また、国保税の値上げの考えは。
答 国では、29年度までに市町村国保を県に移行する体制づくりを進めています。移行までの期間の財源不足は、基本的には一般会計からの繰り入れで対応する考えです。また、現在の景気状況などから、国保税の値上げは難しいと考えています。

賛成討論(要約)

小谷地 喜代治 議員

私は、25年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成の立場から討論します。25年度は「住み続けたと思えるまちづくり」の実現に向けて、町民が抱える不安を一つひとつ解決し、安心して暮らせる環境を整えることを目指した施策を積極的に推進しました。

「快適な住まいづくり応援事業」では、トイレの水洗化に重点を置き、水洗化率の向上に努めました。15歳以下のすべての子どもの医療費を無料化するなど、子育て支援対策の充実を図り、住みよくなりました。

一般会計は、各種事業が重点的かつ効率的、効果的に執行されたことを、高く評価します。特別会計は、予算の趣旨に沿って執行され、所期の目的が概ね達成されています。

また、町民の期待が大きき葛巻病院改築事業や江刈簡易水道整備事業も進められています。

反対討論なし



生活習慣病予防検診の様子（立神会館）